

01 年小泉内閣の「待機児ゼロ作戦」 全国的な待機児童解消の取り組みが進められています・・・

↓ が、その実態は・・・。

① 定員を超えての入所！！（定員の弾力化）

100 名定員の保育所に 110 人、120 人と詰め込み、年度途中で定員の 125% 以上を入所させてもかまわないという緩和が行われ、大阪でも 185% 入所の保育所などがあり、待機児童解消の一番の施策として使われています。

② 待機児童のカウント方法の変更！！

「新定義」を導入して数字としての待機児童数を減らしています。その「新定義」とは、第一希望を理由に待機する人は待機児童にカウントしない、市町村が補助を出さず認可外施設に入所している場合は、認可保育所に入所申請をしても待機児童としてはカウントしないなど・・・。

大阪の待機児童数と定員を超えての入所状況

	2005 年	2007 年
入所申し込み数(A)	133350	135980
入所決定者数(B)	126729	129197
(A) - (B)	6621	6783
待機児数(旧定義)	4938	3730
待機児数(新定義)	2764	1806
定員を超えての入所数	9164	8470

上の表は保育所への入所申し込み数と決定者数、入所保留者と待機児童数（新・旧）、そして定員を超えてどれだけの子どもたちが保育所に入所しているかを表したものです。

2005 年をみると、入所できなかった子ども数 6621 人と定員を超えて入所している 9164 人の合計 15785 人（100 人定員で 158 ヶ所）が保育所の必要数となります。

ところが、表に出ている待機児童 4938 人は実際の必要数を反映しておらず、さらにこれが新カウント数では 2764 人と減る仕組みになっています。2007 年度から厚生労働省は、旧定義の待機児童数を調べることをやめました。

入所できなかった子どもと待機児童との差は、「国の待機児童の定義に満たない」という理由で待機児童としてカウントされない子どもの数となります。（入所保留児）

ギューギュー詰め！ 子どもも、おとなも、もう限界！！

例えば 100 人定員の保育所に、110 人、120 人...と入所を行う弾力化。廊下もホール、押入れまで保育室として広さに組み入れ、子ども達を入所させています。待機児童が 1 人でも減るのはうれしいこと。でもこれでは、子どもの生活空間が減らされたり、働く職員の労働条件も低下の一方。一日も早く、定員をもと戻し、そして待機児童が解消できるよう、保育所の整備・建設が必要です。

保育所の定員を超えての入所状況（弾力化）

	定員数		入所児童数		うち弾力化による入所児童数	
	公立	私立	公立	私立	公立	私立
大阪市	14,168	26,409	12,856	27,627	543	2,245
吹田市	2,112	2,425	2,140	2,448	109	206
茨木市	1,740	2,009	1,729	2,282	84	192
高槻市	1,340	2,510	1,464	2,773	154	315
守口市	1,320	1,090	1,058	1,185	19	115
門真市	760	1,070	718	1,174	9	78
寝屋川市	1,980	1,905	1,695	1,977	21	148
枚方市	1,610	3,943	1,726	4,333	123	408
大東市	750	1,485	545	1,518	15	93
東大阪市	1,680	4,496	1,727	5,111	63	615
八尾市	1,350	2,250	1,300	2,558	31	264
松原市	750	840	822	905	75	72
羽曳野市	730	1,170	619	1,241	41	147
富田林市	910	754	795	769	28	27
河内長野市	260	1,035	209	1,053	0	42
堺市	2,906	8,275	3,036	9,157	260	1,014
岸和田市	1,760	1,880	1,836	1,998	85	-
貝塚市	540	1,430	516	1,370	0	0
泉佐野市	790	1,310	709	1,396	21	122
大阪全体の合計	49,460	77,456	46,747	82,450	1,955	6,515

上の表は定員を超過した入所状況（大阪府内で保育所定員 1500 人以上の市を抽出）を示したものの。

保護者の切実な願いから定員をはるかに
越えて受け入れている保育所もあります。

	定員	入所児童	入所率
A保育所 (民間)	60人	113人	188.30%
B保育所 (民間)	90人	147人	163.30%
C保育所 (公立)	90人	130人	144.40%

園庭園庭で遊ぶ
のも時間を決めて
順番制にした

ロッカーは保育室
に入りきれなくて
廊下へ...。だから着
替えは廊下でして
ます。

お昼寝の布団
は重なり合っ
て...布団を踏
まない移動
できない

思いっきり身体を
動かして遊ばない
子ども達...

職員も、子ども達の思いを
受け止めて、安全を守るた
め、心身ともにクタクタ...

まだまだ足りない保育所！ 保育所建設を！

入所を望む子どもたちが入所できること、一日も早く「定員」に戻すことを前提にした施設整備が求められています。

減らされる公立保育所！

市町村が直接運営する公立保育所から手を引く…？！

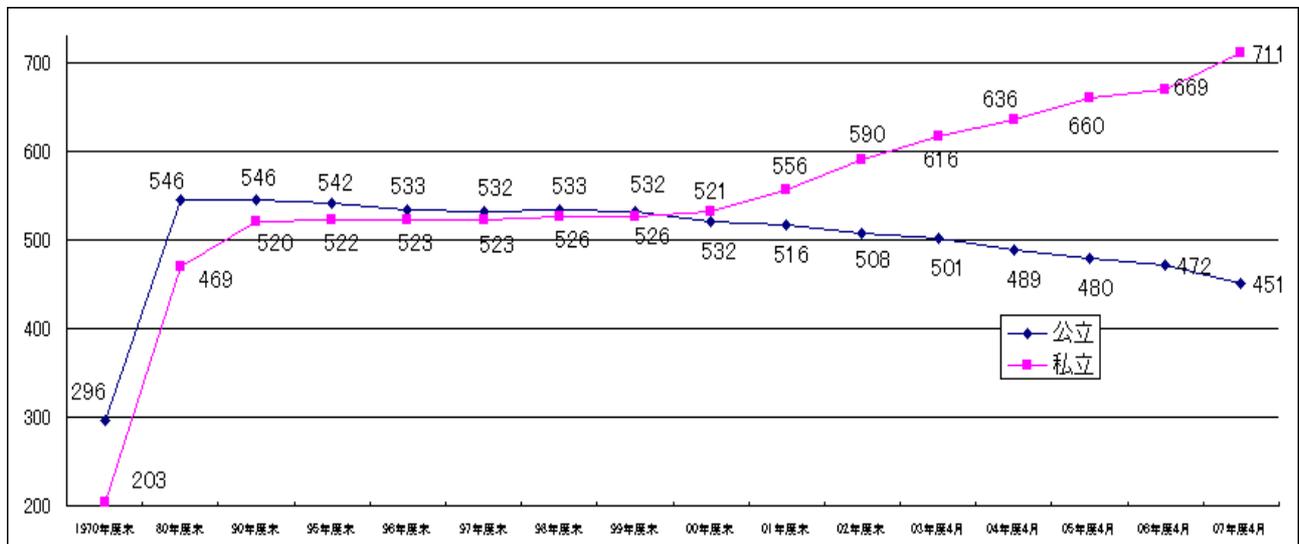


地域の子ども達の状況をダイレクトに把握し、施策に反映できなくなる！



世界に誇る日本の保育制度「すべての子ども達の成長・発達の保障は、国と自治体が行う」を根幹から崩す！

公立保育所数と私立保育所数の推移



上の表は保育所数の推移をあらわしています。1999年を境に公立保育所と私立保育所の数が逆転しています。99年で532ヶ所が05年は480ヶ所と52ヶ所の公立保育所が統廃合や民営化でなくなっています。逆に私立保育所は134ヶ所増えています。

大阪府内の公立保育廃止・統廃合・民営化の状況

実施年	市町村	保育所
1994年4月	東大阪市	春宮
1996年4月	大東市	南郷第1
1998年4月	高槻市	三箇牧
1998年4月	東大阪市	高井田
2000年4月	摂津市	千里丘
2000年4月	摂津市	香露園
2000年4月	摂津市	第2香露園
2000年4月	大阪市	北
2000年4月	能勢町	東郷
2000年4月	能勢町	田尻
2000年4月	能勢町	山辺
2001年4月	堺市	深井
2001年4月	堺市	三原台
2001年4月	大阪市	大道
2001年4月	大阪市	矢田第2
2001年4月	池田市	中央
2001年4月	池田市	天神
2001年4月	島本町	第1
2002年4月	高石市	東羽衣
2002年4月	堺市	湊
2002年4月	堺市	五ヶ荘
2002年4月	守口市	橋波
2002年4月	守口市	土居
2002年4月	守口市	錦
2002年4月	能勢町	久佐々
2002年4月	八尾市	高砂
2002年4月	美原町	西
2003年4月	能取町	第6
2003年4月	高槻市	東天川
2003年4月	守口市	中央
2003年4月	守口市	八雲中
2003年4月	大阪市	東田
2003年4月	大東市	上三箇
2003年4月	東大阪市	島之内
2004年4月	堺市	東三国丘
2004年4月	堺市	久世
2004年4月	守口市	寺内
2004年4月	守口市	東
2004年4月	守口市	高瀬
2004年4月	摂津市	摂津

実施年	市町村	保育所
2004年4月	大阪市	今福南
2004年4月	大阪市	今津
2004年4月	大阪市	東喜速
2004年4月	池田市	秦野
2004年4月	枚方市	宇山
2004年4月	和泉市	幸
2005年4月	和泉市	信太第1
2005年4月	豊中市	北岡
2005年4月	豊中市	桜塚
2005年4月	豊中市	服部南
2005年4月	羽曳野市	古市
2005年4月	堺市	登美丘西
2005年4月	堺市	福泉
2005年4月	堺市	晴美台
2005年4月	泉佐野市	ひかり
2005年4月	大阪市	香蓑
2005年4月	大阪市	吉野
2005年4月	大阪市	塚本
2005年4月	大阪市	安立
2005年4月	池田市	住吉
2006年4月	四条畷市	四條畷
2005年4月	河内長野市	みどり
2006年4月	堺市	美木多
2006年4月	堺市	三宝
2006年4月	豊中市	南丘
2006年4月	豊中市	岡町
2006年4月	豊中市	豊島
2006年4月	寝屋川市	あやめ
2006年4月	泉佐野市	下瓦屋
2006年4月	大阪市	大成
2006年4月	大阪市	加美第3
2006年4月	大阪市	矢田第1
2006年4月	大阪市	豊里第2
2006年4月	八尾市	安中東
2006年4月	大阪狭山市	第1
2007年4月	堺市	新金岡西
2007年4月	堺市	安井
2007年4月	堺市	神石
2007年4月	豊中市	野畑
2007年4月	豊中市	刀根山

実施年	市町村	保育所
2007年4月	箕面市	瀬川
2007年4月	茨木市	三島
2007年4月	茨木市	中桑
2008年4月	貝塚市	東
2008年4月	箕面市	さくら
2008年4月	堺市	鳳
2007年4月	大阪市	新家
2007年4月	大阪市	野里
2007年4月	大阪市	西加島
2007年4月	大阪市	三明
2007年4月	大阪市	平野西
2007年4月	阪南市	西鳥取
2007年4月	和泉市	南松尾
2007年4月	泉南市	信達
2007年4月	能取町	第4
2008年4月	茨木市	水尾
2008年4月	茨木市	玉御
2008年4月	八尾市	桂
2008年4月	八尾市	高安
2008年4月	寝屋川市	ひまわり
2008年4月	寝屋川市	かえで
2009年4月	泉大津市	穴師
2009年4月	大東市	津の辺
2009年4月	大東市	寺川
2009年4月	門真市	泉町
2009年4月	門真市	北島
2009年4月	門真市	小路
2009年4月	門真市	柳町
2009年4月	堺市	金岡

< 保育・学童 >

とうとうなくなった！

大阪府の私立保育所への人件費補助制度

(民間社会福祉従事者給与改善費)

民間社会福祉従事者給与改善費推移

黒田府政2期	1975年	1228282
岸府政1期	1979年	1292160
岸府政2期	1983年	1760684
岸府政3期	1987年	2845998
中川府政	1991年	3788162
横山府政1期	1995年	3974778
横山府政1期	1996年	4291262
横山府政1期	1997年	4606381

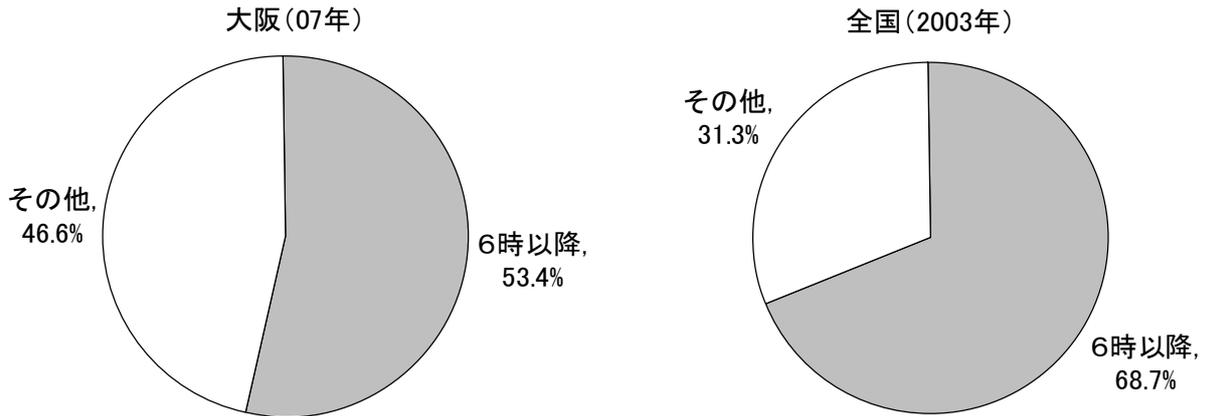
太田府政	2000年	3328605
太田府政	2001年	3278237
太田府政	2002年	2776144
太田府政	2003年	2445207
太田府政	2004年	2278708
太田府政	2005年	廃止
太田府政	2006年	廃止

(単位は千円)

公立保育所廃止・民営化と私立保育所補助金削減は車の両輪です！

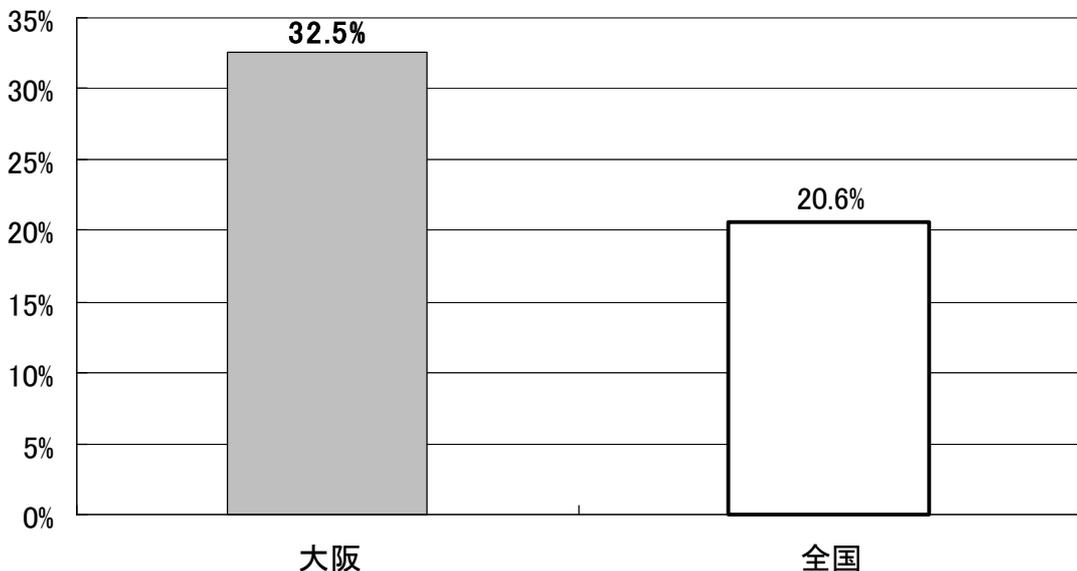
公立保育所・私立保育所の拡充を！

6時以降の学童保育 大阪は低水準



土曜日の受け入れ 未実施の市町村が3割

土曜日の学童保育未実施の自治体割合



放課後のこどもの成長になう 学童指導員 3割以上が時給扱い

学童保育は、異年齢の子どもたちの発達を促し、生活づくりを支援 親の子育てや就業支援 学童期のこどもの遊びや文化を発信 地域・学校・子育ての現場との連携 など、学童期のこどもの成長を支える大きな役割を担っています。

そんな学童保育の指導員は、低賃金で極めて苦しい状況におかれています。

大阪府でも給与が時給扱いとされている市町村が32.5%にのぼっています。さらに東大阪市では、給与は「謝礼」とされ、大阪市では、公の制度は無く父母の共同によって支えられている状況です。

大阪府の学童保育指導員の給与の扱い

時給扱い(アルバイト扱い)	32.56%
謝礼(正式な仕事として扱われていない)	東大阪市
親の支えあい(制度すら無し)	大阪市